

燕市と新潟工科大学との包括連携協定に関するスキーム（2020年7月30日）

1. 燕市と新潟工科大学の特徴を活かした連携

【燕市の特徴】

- 金属加工技術に裏打ちされた「ものづくり」の産業集積地であり、金属プレス製品、ナイフ・フォーク・スプーン等の洋食器や金属ハウスウエア製品の主要産地
- つばめ産学協創スクエア事業を中心としてインターンシップを通じた人材育成の実績

【新潟工科大学の特徴】

- 企業がつくったものづくり大学として、技術者を地域に輩出
- 大学教育再生加速プログラム（国）やコトづくり実践教育事業（新潟県）など、産業界と連携した教育実績
- 工学の専門大学としての独自の研究技術、ノウハウの蓄積

2. これまでの連携実績

- 燕市内において地域産学交流会の開催
- 燕市内企業の大学研究施設見学
- 燕市内企業からの技術相談（CFD解析、物質分析）、受託研究（風洞実験）
- 新潟工科大学生のインターンシップ受入
- 新潟工科大学の授業への講師派遣
- 燕市内企業への技術者輩出

3. 協定の締結（協定事項）

工業分野を中心として相互に連携及び協力

- (1) 産業の振興
- (2) 人材の育成
- (3) 教育の推進
- (4) まちづくり
- (5) その他目的を達成するために必要な事項

4. 協定後の具体的な取組の方向性

【全体的事項】

- 地域ニーズにマッチした施策の展開に向け、連携会議による情報の共有
- 「小学校～大学～燕市企業」への人財循環を図る
(燕市への定着増)

【産業の振興】

- 企業ニーズと大学の研究シーズのマッチングによる産業高度化に対応した技術革新を図る
- I o T 推進ラボの活動を基盤として地域産業の I o T 化を図る

【人材の育成】

- 企業研修への講師派遣
- 地域インターンシップの実施

【教育の推進】

- Web動画を活用した科学教室やプログラミング教室の開催
- 青少年向け大学学び体験会の開催

【まちづくり】

- 街なかの賑わい創出のためのワークショップ開催
- 都市防災の観点から効果的な地域防災のあり方を検討